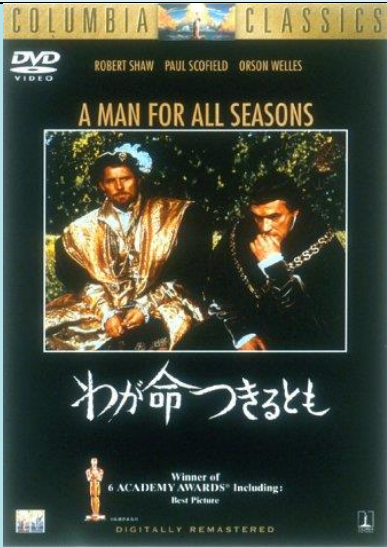


『わが命つきるとも』 原題 <i>A Man for All Seasons</i>		執筆：清水 純子
		1966 年
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：監督フレッド・ジンネマン / 脚本ロバート・ボルト / 製作フレッド・ジンネマン / 製作総指揮ウィリアム・N・グラフ /</p> <p>キャスト：ポール・スコフィールド：トマス・モア / ウェンディ・ヒラー：アリス・モア / レオ・マッカーン：クロムウェル / ロバート・ショウ：ヘンリー8世 / オーソン・ウェルズ：ウルジー枢機卿 / スザンナ・ヨーク：マーガレット・モア / ナイジェル・ダヴェンポート：ノーフォーク公爵 / ジョン・ハート：リチャード・リッチ / コリン・レッドグレイヴ：ウィリアム・ローパー / コリン・ブレイクリー：マシュー / シリル・ラックハム；トマス・克蘭マー大僧正 / ジャック・グウィリム：大法官 / ヴァネッサ・レッドグレイヴ：アン・ブーリン /</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	120 分	
ストーリー	<p>1528 年英国王ヘンリー 8 世は、男子の世継ぎを得るためにキャサリン皇后を離縁して若い女官アン・ブーリンを妻にしようと考えた。しかし 16 世紀の英国は、カトリックであったため、離婚にはローマ教皇の承認が必要だった。王の再婚を法王に説得できるのは信仰心篤く、人望のあるトマス・モアだけだった。しかし法律家モアは、王の離婚に懐疑的であり、再婚に賛成しなかったため、怒った王は死刑を命じる。</p>	
時代設定	1528 年	
場所	イギリス	
社会背景	<p>16 世紀の英国はカトリックを信奉していた。イギリスは宗教的にはローマ法王の配下であり、離婚は認められなかった。力をつけてきたイギリスは、ローマ法王の権力下に甘んじたくなかった。政治体制は、君主が絶対的な支配力を持つ「絶対王政」である。</p>	
文化的背景	<p>薔薇戦争の後やっと訪れた平和、ヘンリー八世の男子の世継ぎ待望のための 6 度の結婚、病と共に高じるヘンリー八世の好色、利己心、冷酷、残忍、不安定な精</p>	

	神状態、徐々に力をつけていった英国の国力、絶対君主に対して個人の信念を守るのには命をさし出すしかなかった時代の暗黒面。
使用言語	英語
テーマ	権力と信仰の葛藤、命にまさる信念と信仰の尊さ、絶対君主の横暴。
みどころ	晩年は悪名高いヘンリー八世だが、人間としては魅力的で才覚があったことを忘れていない。高潔な人格と強い信仰信念を持つものも政治的権力の前には無力であり、自分の信念を通すのに命をさし出すしかない矛盾、黙秘権のない時代の恐ろしさ、王権、教会の権力、法律の適用それぞれの分離を唱えたモアの時代を超えた適切な感覚。
印象深いせりふ	Thomas More: Since the court has determined to condemn me. God knoweth how I will now discharge my mind concerning the indictment and the King's title. The indictment is grounded in an act of parliament which is directly repugnant to the law of God and His Holy Church. The supreme government of which no temperable person may by any law presume to take upon him. This was granted, by the mouth of our Saviour, Christ Himself to St. Peter and the bishops of Rome whilst He lived and was personally present here on earth. It is therefore insufficient in law to charge any Christian to obey it. And more than this the immunity of the Church is promised both in Magna Cart and in the King's own coronation oath. Now, we plainly see you are malicious! Not so. I am the King's true subject and I pray for him and all the realm. I do none harm. I say none harm. I think none harm. And if this be not enough to keep a man alive, then in good faith, I long not to live. Nevertheless it is not for the supremacy that you have sought my blood but because I would not bend to the marriage! . . . and since I am the King's obedient subject. . . brief I will be. I die His Majesty's good servant but God's first.
授業教材用 メリット	イギリスの歴史がよくわかる、イギリスの英国国教会設立の事情がよくわかる、英国の名優のすばらしい演技、豪華な衣装とセットが見られる、命に代えても主義主張を曲げない信念と信仰の尊さ、トマス・モアの政教分離の思想の卓越した現代性。
授業教材用 デメリット	絶対主義（絶対君主制）の横暴、人の命を都合でもてあそぶ絶対君主のわがまま、権力集中のおそろしさを見せつける。法や真理は相対的であるという疑いを持たせる。
映像入手元	ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント
原作の有無	ロバート・ボルトの舞台劇
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 82、観客 87）
キーワード	ヘンリー八世、キャサリン王妃、アン・ブーリン、カトリック教会、ローマ法王、離婚、トマス・モア、信仰、死刑、英国国教会、忠誠、反逆罪、法律、沈黙、偽証。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。